

2012年3月15日

No. 1202

愛知県職連合会 現業評議会

名古屋市中区三の丸2-3-2
愛知県自治センター
代表 052-951-4036
FAX 052-972-0649
www.aichikenshoku.gr.jp
gengyou12@aichikenshoku.gr.jp

- ☆ 役員学習講座を開催しました
2月17・18日(サンヒルズ三河湾)
- ☆ 県職連合中央委員会を開催しました。(水産会館)
- ◆ 支部等代表者会議
3月10日(アイリス愛知)

現 評



現評役員学習講座を開催 給与カット、人事評価制度、適用給料表をはじめ 職場の実態や今後の課題等で、広く意見交換を行う

2月17日(金)から18日(日)の2日間にわたって蒲郡市のサンヒルズ三河湾において30名の参加で「現評役員学習講座」を開催しました。

今後のさらなる組合員の結集を図り、現業職員の要求実現をめざして学習しました。

1日目は県職連合の吉本副委員長・柴田書記長

から「情勢報告」「人事評価制度」「現業職員の賃金制度のしくみ」について説明・報告がありました。

参加の組合員からは、厳しい財政状況を理由に4年も連続する給与削減に憤りの声が上がっていました。

また、これまで「現業職員の業務・給与の見直し」がされたなか、今年度から知事部局で本格実施された「人事評価制度」では、私たち現業職員を一般職と同様に評価してくれるのかと不安視する一面もありました。

夜は懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中で、お酒を酌み交わし、最後はガンバロウ三唱で宴を締めくくり、その後は部屋で深夜まで情報・意見討論等が続いていました。

2日目は鬼頭議長と白頭副議長から「現評年間としての役割」「現評年間



現評役員講座1日目

「行動計画」について説明があり、その後全体で職種別に職場の現状・人員問題等の意見・討論が行われました。

今後現評本部として、それぞれの組合員の思い

1日目は、3本の講義がありました。

まず柴田書記長から、情勢報告として『人事委員会勧告の取扱について』と『給与削減について』の説明がありました。その中で給与削減については4年連続となり、組合員も我慢の限界である。

「到底受け入れられない。妥結できない」という本部判断について、「画期的である」「よくがんばった」「マスコミ報道が先行する

をしつかり受け止めて、厳しい職場環境のもとで日々奮闘している職員の士気に答えるために運動をすすめていきたいと思っています。



のは何とかならないのか」という意見があげられました。知事も政治家であるので県民へのアピールもあるのだろう。今後当局との信頼関係を継続維持できるように努力する必要があるが、組合員の支持を得ていると思うとされました。

2本目の講義は柴田書

賃金実態調査に協力を!

給料の昇給を調査し、実態を把握し、賃金実態調査を実施する。3月と4月の給与明細表からの転記としますので、2か月分の給与明細表の保管をお願いします。

3月と4月の給与明細表からの転記としますので、2か月分の給与明細表の保管をお願いします。



定期人事異動調査を実施します

支部議長・職場代表者のみなさん
協力をお願いします。

定期人事異動に伴う所属先の変更、定年・かんしょう・自己都合による退職などで、所属の組合員のメンバーが変更となります。現評組合員台帳を整備するため、3月16日から月末にかけて、異動等の調査を行いますので、支部議長や職場代表者の協力をお願いします。

- ① 異動状況調査
本部作成の様式による
- ② 調査期間
3月30日(金)まで

記長による『人事評価制度について』で、「本当にこのような制度になればとても良い制度だが旧態依然とした評価」「昇任に近い一般職を優先する」「自己評価の点数の制限があった」という指摘とともに、「一般職と現業を一緒に評価して本当に現業職員が不利にならないのか」「能力とは上司にゴマをすることができればよいのか」「本当に平等に評価できる能力が上司にあるのか」などの意見が多く出されました。今後の取組みの中で「給与実態調査」を行なって分析・検証を行なっていくことと、第一次評定者である班長の研修をしっかりと行なうように引き続き当局に申し入れていくとしました。

本副委員長が行ないました。4月から行政職(二)表に変わります。「給与水準の維持については評価できるが、今後の課題として主査への昇任がなければ、若い職員の生涯賃金の低下は免れない、早い段階での主査昇任を求めていく運動が必要である。また人事評価制度についても現業独自で調査検証し、正当な評価がされているか確認する必要があります。そのためにも4月以降に行なう現業組合員全員に対する給与実態調査に協力して欲しい」としました。



現評役員講座の目次

2日目は、自己紹介を兼ねて現在の職場の近況等を話し、意見交換を行いました。

動物保護管理センター

動管には、動物に関するの苦情等が多くあり、直接住民との交渉や指導といった、本来一般職が行うべきと思われる業務まで現業職員が対応している。

業務は一般職と遜色ないのに、この4月から現業職員の給与が行(二)に移行させられるのは納得いかない。

コロー・給食

この4月から病院給食が委託される予定で、現段階では正式に決定していないものの、現在業務



に就いている嘱託職員には個別に話があったようだ。

正規職員は、施設給食に統合されると予想されるが、施設給食の業務は自動車運転免許証が必要となり、免許証の無い職員は定年前に早期退職を考えている職員もいる。

畜産総合センター

30年以上使用し老朽化したているトラクターをかなりの頻度で修理して使用しているが、修理代が大きな負担となっている。何度か更新を要求しているが、予算措置は厳しいのが現状だ。

がんセンター中央病院・看護助手

一昔前は、20名以上在職していた助手も現在は7名。この3月で3名退職するので、残りは正規職員4名になる。(※嘱託職員41名)

以前は給与面での開きがあり、業務が大変やりにくかった。しかし、正規職員の場合、一病棟2名でこなしているが、正規1名と嘱託2名の組み合わせ

現評 当面の取組

月	内容
3月	※本部役員会議(原則:第2土曜日午前) ※支部等代表者会議(原則:第2土曜日午後) ○3/10 本部役員会議・支部等代表者会議(アイリス愛知) ☆組合員人事異動調査
4月	○4/12本部役員会議(組合本部) ☆賃金実態調査
5月	○5/12本部役員会議・支部等代表者会議(アイリス愛知) ☆職場要求
6月	○本部役員会議(日時・会場未定) ○6/30現業評議員会(日時・会場未定)

わせは、年休が取得し易いメリットもある。

がんセンター愛知病院・給食

同じ現業職員で他職場では主査級の人がいるが、がん愛知給食職員も定年近い人もおり、誰でも主査級になれるようにしてほしい。

また、将来の定年制はどうなっているのか知りたい。



がんセンター中央病院・給食

一昨年の10月に循環Cの給食職員が、全員が中央への異動により、がん中央は過員になっている。当初は、「少しは余裕のある業務がこなせるかな？」と思っていたが、最近、食事の内容が複雑になり、またアレルギー食・宗教食・本人の趣向にも対応するため、現状の人員でも厳しくなっている。

この先このような内容は減少することなく、さらに増えることが予想されるので、現在は決して過員ではない。今の職員数をこの先も守って欲しい。

現業職場の声を職場要求に反映させよう!